

ふるさとサマーウォーク



7月23日(日)に栗山地域で開催されたサマーウォーク。梅雨明け前でしたが、天候にも恵まれ市内外から約800人が参加しました。

湯西川コース、奥鬼怒コース、瀬戸合峡コース、日蔭牧場コースの4コースが設定され、参加者はそれぞれ自分の体力に合ったコースを選び、トレッキングを楽しみました。ゴールには冷たい牛乳が用意されており、歩き終えた参加者は、汗を拭きながらおいしそうに飲んでいました。

県消防操法大会



7月29日(土)、県消防学校で開催されました。この大会には、新生日光市の代表として足尾消防団第3分団第2部が「小型ポンプ操法の部」に出場しました。団員たちは連日連夜の厳しい訓練を乗り越えて臨みました。大会では訓練の成果を発揮し、3位入賞を果たしました。今後は、大会の貴重な体験を消防活動に役立てます。

わたらせ渓谷鉄道沿線交流ハイキング大会

わたらせ渓谷鉄道沿線市(日光市、桐生市、みどり市)と栃木県、群馬県で構成するわたらせ

渓谷鉄道再生協議会では、地域の魅力を再発見し、地域振興とわたらせ渓谷鉄道の利用促進を目的に沿線交流ハイキング大会を実施しています。今年7月29日(土)に、沿線市内外から約60人が参加して開催されました。



参加者は4組に分れ、足尾楽る約3kmのコースを3時間ほどで歩きました。

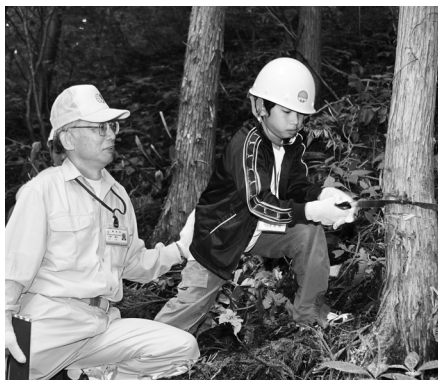
迎員協会会員のガイドを受けながら、間藤駅から足尾ダムに至



ガイドの解説を聞く参加者

参加者からは「ガイドブックを持っていても見逃してしまう部分が多いと思います。今日のようにガイドが説明してくれると肝心なところを見逃すこともなく、疑問に思ったこともすぐに聞けるので興味が深まりますね」と好評でした。

森と湖に親しむ旬間



間伐体験をする児童

栗山地域と藤原地域で7月27日(木)・28日(金)に森と湖に親しむ旬間「上下流交流会」が実施されました。この旬間(7月21日〜31日)は、森林やダムの役割について理解を深めるため、昭和62年に国が定めたものです。交流会には、千葉県の小学生や保護者38人と日光市の小学生16人が参加しました。児童たちは、間伐体験やダム見学、水生

植物の調査などを通じて交流を深めました。栗山地域の安が森キャンプ場で行われた間伐体験では、日光森林管理署の方たちの指導で、班ごとに協力し木を切りました。千葉県から参加した柳田好輝くん(11)は「図工の授業で木を切ったことはあったけど、間伐体験の方が楽しかったです」と、汗を拭きながら笑顔で話してくれました。